

取組 1 6	新しいタイプの高校づくり
--------	--------------

現状

- ・ 本県の高校進学率は昭和50年前後に90%に達し、現在では、中学校卒業生の約98%が高校へ進学しています。
- ・ このような現状を踏まえ、生徒一人ひとりの能力・適性、興味・関心、進路希望などに対応するため、新しいタイプの高校への改編や特色ある教育課程の編成等を推進しています。

新しいタイプの高校への改編：県立高校（中等教育学校含む）64校中16校（25%）

総合学科高校 (6校)	総合学科とは、普通科、専門学科と並ぶ「第3の学科」として新しくつくられた学科。普通科と専門学科の科目が幅広く開設され、自分の進路についての考えを深めながら、適性や興味・関心等に応じて科目を選択し、学習を進めることができる単位制高校 < 新田暁高校、渋川青翠高校、吉井高校、前橋東高校、伊勢崎興陽高校、安中総合学園高校 >
全日制単位制高校 (4校)	多くの開設科目の中から、自分の興味・関心や進路希望などに応じて授業を選択して学ぶことができるなど、柔軟な学習システムを持ち、多様な学習ニーズや進学希望に対応できる普通科の単位制高校 < 大間々高校、高崎北高校、伊勢崎清明高校、太田東高校 >
フレックススクール (2校)	単位制の昼間定時制を設置する高校に対する本県独自の呼称。昼間部、夜間部などの定時制課程の他に、通信制課程を併せ持っており、生徒の興味・関心や生活ペースに合わせて学ぶことができる高校 < 前橋清陵高校、太田フレックス高校 >
連携型中高一貫 教育校(3校)	中学校との間で生徒・教員間の交流等の連携を深めながら教育を行う高校< 万場高校、孺恋高校、尾瀬高校 >
中等教育学校 (1校)	中学校、高校に当たる6年間一体的に教育を行う学校 < 中央中等教育学校 >

単位制：生徒一人一人がそれぞれの履修計画に従い履修した教科・科目ごとに単位を認定し、単位数の合計が卒業要件に達した場合に卒業を認定する

特色ある学科・コースの設置

特色ある学科・ コース	自然環境科（尾瀬高校）、福祉科（吾妻高校）、スポーツ科（西邑楽高校）、芸術科（西邑楽高校）、水産コース（万場高校）などを設置 農業、工業、商業の各分野で社会や生徒のニーズに応える学科やコースを設置
----------------	---

主な特色ある教育課程の編成

ぐんまチャレンジ・ ハイスクール(2校)	体験学習等を行う学校設定教科・科目を導入したり、基礎基本が着実に身につくような学習時間を設定したりするなど、生徒の実態に合わせた先進的な取組を行う高校< 板倉高校、玉村高校（平成21年度～） >
ぐんまコミュニティー・ ハイスクール(1校)	学校の人的資源や施設を有効に活用し、地域の文化・スポーツの交流拠点としての役割を担えるよう、様々な取組を行う高校< 長野原高校 >

課題

- ・生徒や保護者、社会からの多様なニーズを的確に把握すること
- ・卒業後を見据えた教育課程等で生徒の進路希望がかなうように支援すること

取組の方向

- ・生徒、保護者の進路希望や社会状況の変化に対応できる教育課程を編成します。
- ・各学校のホームページでの教育内容の公開や学校説明会の実施等、学校の情報を中学生やその保護者に発信します。

主な事業の概要

事業の概要	担当部署
・教育課程、生徒定員等の見直し 生徒や保護者、地域社会からの多様なニーズに応えるため、県立高校の教育課程や生徒定員等の見直しを行います。	高校教育課
・ホームページの充実 各学校のホームページにおいて、特色ある教育活動や卒業者の進路情報等を充実します。	各県立高校

達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
・自分の学校が好きだと感じている生徒の割合 (公立高校)	-	80%

トピックス

入学者選抜制度の見直し

- 平成12年度 前期試験・後期試験(2段階選抜)の導入
- 平成19年度 県立高等学校の通学区域を全県一区へ
フレックス・スクールに秋季選抜試験を導入